



大規模災害時にインフラはどうなる??

オリパラ開催に向けて企業が備えることは??

大規模地震等の自然災害が発生した場合、地域社会は大きな被害を受け、人々の生活や企業活動が大きなダメージを受けることは想像に難くありません。2019 年度の第 1 回セミナーでは通信インフラ企業の取り組みについてご講演頂きましたが、第 2 回セミナーでは、都市ガス及び公共交通企業での取り組みについてご講演頂きます。

また、今年は東京 2020 オリンピック・パラリンピックが開催されます。オリンピック開催は都心に事業所を構える企業活動にどのような影響が発生し、それらの課題に対して企業はどのような協力ができるのでしょうか？都市交通に起因する影響を中心に東京都オリンピック・パラリンピック準備局での検討成果についてご講演いただきます。

日 時：2 月 14 日（金） 14：00～17：00

14:00～14:10 あいさつ等

14:10～14:55 【講演 1】大規模地震等に備えた東京ガスの取り組み（仮）

【講師】東京ガス株式会社 都市エネルギー事業部 公益営業部 飯田 佳晃 氏

東京ガスでは、都市ガスの安全と安定供給を守るために、様々な取り組みを行っております。災害時に備えて、平常時より「事業継続計画 (BCP)」の策定や大規模災害を想定したさまざまな防災体制を整えております。防災体制を整備したうえで、「予防対策」「緊急対策」「復旧対策」の 3 本柱を基本とする地震防災対策を行っております。本セミナーでは東京ガスのこれら取り組みについて、わかりやすくご紹介いたします。



15:05～15:45 【講演 2】災害時における JR 東日本の取り組み（仮）

【講師】東日本旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部 サービス品質改革部 次長 阿部 真臣 氏

大規模ターミナル駅周辺エリアにおける震災時の駅周辺混乱防止に向けた取り組み（帰宅困難者対策等）、大規模災害時におけるお客さまへの情報提供、災害時における鉄道会社としての JR 東日本の役割、新宿駅周辺エリアの事業者・住民に期待すること等について、わかりやすくご紹介することを予定しています。



15:55～16:40 【講演 3】東京 2020 オリンピック開催がもたらす影響と企業の取り組み（仮）

【講師】東京都オリンピック・パラリンピック準備局大会施設部輸送課 (TDM 担当課長) 山崎 かすみ 氏

東京 2020 オリンピック大会においては、世界各国から多くの大会関係者と観客が訪れることが見込まれています。そうした方々への安全、円滑、迅速な輸送サービスの提供と、都市活動や経済活動の安定との両立を図ることを目標として、交通需要マネジメント (TDM) 等の検討を進めています。本講演では、現在の検討状況等についてご紹介いたします。



16:40～ 事務連絡 等

場 所 工学院大学 新宿キャンパス 高層棟 5 階 A0542 教室 (所在地：新宿区西新宿 1-24-2)
対 象 者 新宿駅周辺で働いている方、お住まいの方、駅周辺の商業施設をご利用の方、その他誰でも
参 加 費 無料
定 員 120 名
申 込 方 法 別紙参加申込書により 2020 年 2 月 5 日 (水) までに FAX でお申込み頂くか、ご所属、ご連絡先 (住所、電話番号、e-mail アドレス) 及びご参加者氏名を電子メールで、下記アドレス宛にご送付ください。
[申し込み先アドレス] bosai@city.shinjuku.lg.jp
問 合 せ 新宿区危機管理担当部危機管理課 担当：宮岡
電話 03-5273-4592 FAX 03-3209-4069